

## 式 辞

令和四年度畿央大学卒業証書等授与式において、それぞれの証書を授与される卒業生、修了生の皆様誠におめでとうございます。

また、これまで励まし支えてくださったご家族の皆様にもお祝いと感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

卒業される皆様にとって一生の思い出となる式典は、再び全員が一堂に会して行う形になりました。皆様のために心のこもった式になるよう教職員や関係者の皆様にご協力・ご尽力いただきましたことを、まず初めに厚く御礼申し上げます。

卒業される皆様は、入学されたころに持っておられた将来への夢がその実現に向けて具体的になり、今日はその夢に向かって歩み出す出発の日となりました。

在学期間中に夢の実現への道筋をつけることができたのは、これまでの皆様の努力と研鑽によることは勿論ですが、先生方のご指導と職員の方々のご支援、そして切磋琢磨した学友の皆様がおられて、初めて達成できたことであることを深く心に刻んでいただきたいと思います。

さて、卒業される皆様が歩みだされる未来社会はどのような社会になるのでしょうか。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止が各国で進められることにより、政治経済体制の変化が加速され、先が見通せない状況にあります。

より良い未来社会が実現するのか、ロシアにより引き金が引かれたウクライナへの侵略戦争がさらに拡大し、人類の存亡が危機に瀕する事態になるのか、緊張をもって見守らざるを得ません。

今日卒業される皆様は、現時点では先が見通すことが難しい社会で、その社会の将来を築き、活躍される世代です。皆様がこれから果たされる役割に大きく期待いたします。

皆様は、本学において専門分野の知識と技術、さらに教養も含めた建学の精神にもある「知」を学ばれましたが、生涯にわたり、学び続け、成長していただきたいと思います。

その際にまず、知識・技術を体系的な体系として捉える視点を持っていただきたいと思います。

専門分野の知識内容は、相互に関連しています。知識内容の関連が分かると、その分野の専門知識を体系的に理解することができ、足りない部分やさらに追加が必要な拡がりが見えてきます。他の人に、理解していることを説明できるようになります。

そして、「分かる」ということを重視してください。知識や技術は、人類の文化の歴史の中で先人たちが見出し、形にしてきたことです。知識・技術を学ぶ際に、なぜそうなのかと考へ、理解し身につけることが必要です。そのためには、この知識や技術は、「何なのか」という疑問を常に持ち、深く考え続けてください。それにより、知識・技術の「深い理解」を得ることができます。

最後に、本学で学んだ知識・技術を大切に、それらを基に、常に最新の知識と技術を身につけるように、「知」のアップデートを、心がけてください。

今後、仕事の中では、常に新しい情報を追加し、知識・技術の財産を増やしてください。

それらを「成長する個人の『知』のアーカイブ」としてアップデートしながら大切に蓄積し、育ててください。

知識の獲得については、AI（人工知能）の出力の利用が近年急激に広がっています。大量データの高速処理により生成される、文章、画像、文書要約、プログラムコードなど、品質は高いですが、エビデンスに注意する必要があります。

生成された結果を、個人の「知」のアーカイブに加えるかは、よく考えていただきたいと思います。

皆様は、在学期間の間、コロナウィルス感染を避けるために他者と距離を置かざるを得なくなったことで改めて他の人との繋がり大切さを明確に気づかれたとおもいます。

私共が生活する社会はお互いに繋がっている個人と団体、考え方の異なる人たちで成り立っています。

その社会生活の中で起こる問題や課題を、関係する人たちの中で力を合わせ、何らかの解決に向かうには、論理的に考え、上手なコミュニケーションが必要です。

この論理的に考える「論理的思考」は、問題・課題について自分なりのイメージを明確に持てれば難しいことではありません。そのうえで、他の人が考えていること、イメージしていることを想像できれば、コミュニケーションにつながります。

論理的に考え上手にコミュニケーションすることにより、未来社会の中で専門知識を活かし社会に貢献できる豊かな人生を送ってください。

最後に皆様は、他の生物とは異なる知的な存在としての、自分自身を認識していただきたいと思います。

私共は、目の前に見える空間の中のものだけでなく、時間の流れの中で、自分の存在について、どこから来たのか、どこへ行くのか、過去・現在・未来、これらについて思いめぐらすことができます。

宇宙の始まり、生命の誕生、人類の進化など、今まで先人が発見し蓄積した知的なことは、今ネットを通してスマートフォンで容易に知ることができます。

さらに、世界各地の歴史的遺産についての映像からは、人類が築いてきた多様な文化や芸術を知り、日常生活の中では出会うことのない美しい映像を見ることができます。

このような映像を通して、私共が生きている人類の社会の持続にも関心を持ってください。

できることならば、映像ではなく、その場所を訪れ、リアルに見て全身で感じてください。いくら大きい画面でダイナミックな動きや音声に取り巻かれても、バーチャルに作られた仮想の世界とリアルの世界では、感じるものが違います。

人類の社会は地球上の自然環境を変化させることにより発展してきましたが、その活動により自然環境が急速に変化しつつあります。さらに経済格差の拡大や人口問題でも、地球規模の諸問題に直面しています。

ネット上に流されるフェイクニュース（偽りの情報）には惑わされることなく、想像力を鍛え、リアルな体験にも挑戦し、未来社会の中で、その問題解決にそれぞれの考えに基づいて参画されることを期待いたします。

以上、卒業される皆様への期待を、建学の精神の、「知をみがく」に焦点を合わせ、論理的思考とコミュニケーション力も育み、「知」を磨き続けられることへの期待を述べました。

建学の精神の「美をつくる」は、美しきものへの憧れを持ち続け、人に感動を与える具

象的なもの・抽象的なことを作り続ける生き方を示しています。「美をつくる」ことを追求してください。

そして、「知をみがく」「美をつくる」という生き方に重ね合わせて、人の世の中で他者を思いやり、よりよい社会を作ることを通して、皆様が持つておられる「徳」を伸ばされることを期待いたします。

畿央大学が社会から評価を得られるのは、卒業生の皆様の活躍、社会への貢献によるものです。皆様が畿央大学の卒業生として誇りを持って国内で、そして国際的に活躍し、人が幸せに生きられる社会の持続的発展に貢献されることを重ねて期待いたします。

本日は誠におめでとうございます。

令和五年三月十六日

畿央大学 学長 冬木正彦